

教育に関する事務の管理と 執行状況の評価結果を公表

【問い合わせ先】 教育委員会 教育総務課
☎(62) 5677

町教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、令和3年度における教育に関する事務の管理と執行状況について、外部の学識経験者による点検・評価を実施しました。このほど評価の結果がまとまり、9月に開かれた町議会定例会に提出しました。

評価結果の概要についてお知らせします。

●すべての項目で「期待どおり」以上の評価

次に掲げる3分野の重点事項15項目について評価をいただきました。

①学校教育の分野では、充実した活力ある学習環境の整備など4項目
②幼児教育の分野では、充実した活力ある学習環境の整備など5項目
③生涯学習の分野では、「豊かさ」と「活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造など6項目

以上の項目に関して、AⅡEの5段階評価を行った結果、次のようになりました。
AⅡなし、BⅡ7項目、CⅡ8項目、DⅡなし、EⅡなし

【評価基準】AⅡ期待以上、BⅡやや上回る、CⅡ期待どおり、DⅡやや下回る、EⅡ期待以下

●具体的な評価の主な内容

▼充実した活力ある学習環境の整備
猪苗代中学校が取り壊される前に見れて良かった。

また、小学校の統廃合事業について計画どおり進めてほしい。

▼「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践・支援
体験学習や施設見学に町のバスが利用できるのは非常に助かる。支援が必要な児童生徒は多くいるので、統合しても今までのように配置してほしい。

▼「確かな学力」を育む授業づくりの実践・支援
先生方への研修は重要である。学力は児童生徒の財産であり、授業でつまづきが無いように先生方のスキルアップを図ってほしい。また、学校の先生に任せてばかりではなく、地域の方、先生のOBと一緒にになった取り組みも必要と思う。

▼「健やかな体」をつくる教育活動の実践・支援
体力づくりは地域や家庭を巻き込んで行つてほしい。朝食摂取率が100%に近づいており、食育の大切さ、防災教育も引き続き続けてほしい。

▼「家庭の教育力」の回復
保護者との信頼関係は大事であり、信頼関係の構築はとても難しい問題なので、引き続き良好な関係構築に努めてほしい。

▼「豊かさ」と「活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造
母から子への手紙は引き続き継続してほしい、子ども達の心を育む事業をしてほしい。

総評として、コロナ禍で活動の制限はありますが、子供達の学びの機会の確保と感染症対策を引き続き進めていただきたいことでした。
なお、各項目の評価結果については、町ホームページをご覧ください。



東京学芸大学附属小金井小学校の加固教諭による算数・数学授業研究会の様子

インフルエンザ予防接種助成について

◆町インフルエンザ予防接種助成の概要

対象者	町内に住んでいる人(住民登録をしている人)で助成区分に該当する人
実施期間	10月1日から令和5年1月31日まで
接種回数	13歳未満…2回(1回目接種時年齢) 13歳以上…1回(※医師の判断により2回接種になる場合があります。ただし、助成の対象になるのは1回のみです)
接種に必要なもの	①住所・氏名・年齢を確認できるもの(免許証や健康保険証、母子健康手帳など) ②自己負担金 ③インフルエンザワクチン助成事業対象者証明書(生活保護受給者のみ)

10月1日から、町内の医療機関でインフルエンザの予防接種が始まりました。

インフルエンザの予防と、かかってしまった時の重症化を防ぐためにワクチンの接種が効果的です。助成対象者は、このページの概要をよく読んでから医療機関でワクチンの接種を受けましょう。

◆助成対象者と助成限度額

助成対象者の区分		1回目			2回目		
		接種費用	助成限度額	自己負担額	接種費用	助成限度額	自己負担額
一般	1歳以上の幼児、小学生 13歳未満の中学生	病院単価による	2,519円	病院単価と助成の差額	病院単価による	2,519円	病院単価と助成の差額
	13歳以上の中学生 高校生等※				1歳～13歳未満(1回目接種時)の場合 2回目接種も全額助成		
	妊婦						
	生活保護受給世帯のうち、 1歳～高校生等と妊婦						
高齢者	○65歳以上 ○60歳以上65歳未満の心臓・腎臓・呼吸機能障害またはヒト免疫不全症による身体障害者1級の人	5,038円	2,519円	2,519円 ※医療機関により異なる場合があります			
	生活保護受給者	5,038円	5,038円	0円			
	施設入居者	3,454円	1,727円	1,727円			
	生活保護者で施設入居者	3,454円	3,454円	0円			

※「高校生等」とは「18歳の誕生日以後、最初の3月31日を迎えるまでの人」とします。

◆町内で助成が受けられる医療機関

医療機関名	電話番号
浅見クリニック	63-2200
小川医院	62-2132
かねこ内科・外科クリニック	72-0660
町立猪苗代病院(高齢者のみ)	62-2350
矢吹医院	62-2169
マリアクリニック	66-2700

※町内の介護老人福祉施設(いなわしろホーム、咲楽の里)、介護老人保健施設(ケアテル猪苗代、多生苑猪苗代)で接種できる人は、施設入所者に限ります。

◆接種にあたっての注意事項

- ①ワクチンを準備する都合上、事前に医療機関などに電話で確認してください。
- ②当日の体調や持病により、予防接種を受けられない場合もあります。医師の判断に従ってください。

◆町外医療機関・施設で接種を受ける場合

- ①高齢者の区分に該当する人は、県広域予防接種を実施している医療機関・施設であれば自己負担額だけで接種ができます。
- ②1歳～18歳までの子どもと妊婦で、町外医療機関で接種を希望する人は、いったん全額自己負担してください。後で町に申請することで助成が受けられます。

○申請手続き

下記の書類を持参の上、保健福祉課で手続きをしてください。

○持参書類

領収書、接種済証、銀行またはJAの通帳・印鑑

※生活保護受給者は、「インフルエンザワクチン予防接種助成事業対象者証明書」が必要になります。

【問い合わせ先】

保健福祉課 健康づくり係 ☎(62) 2115